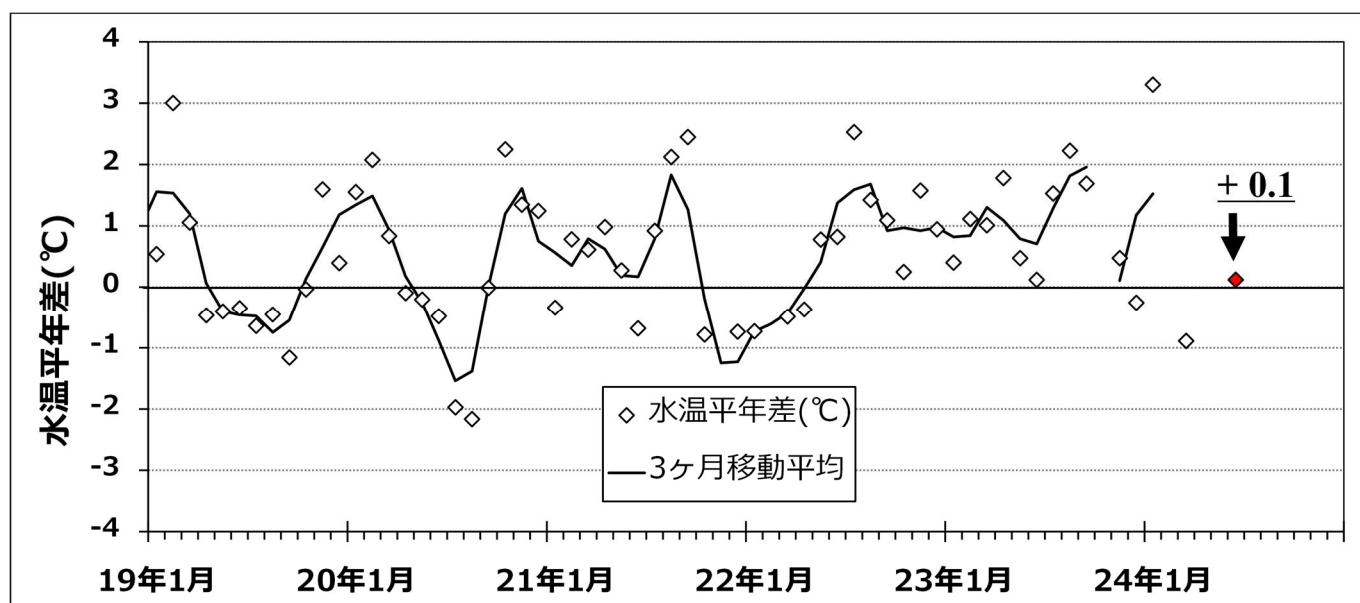


【水温の変動】

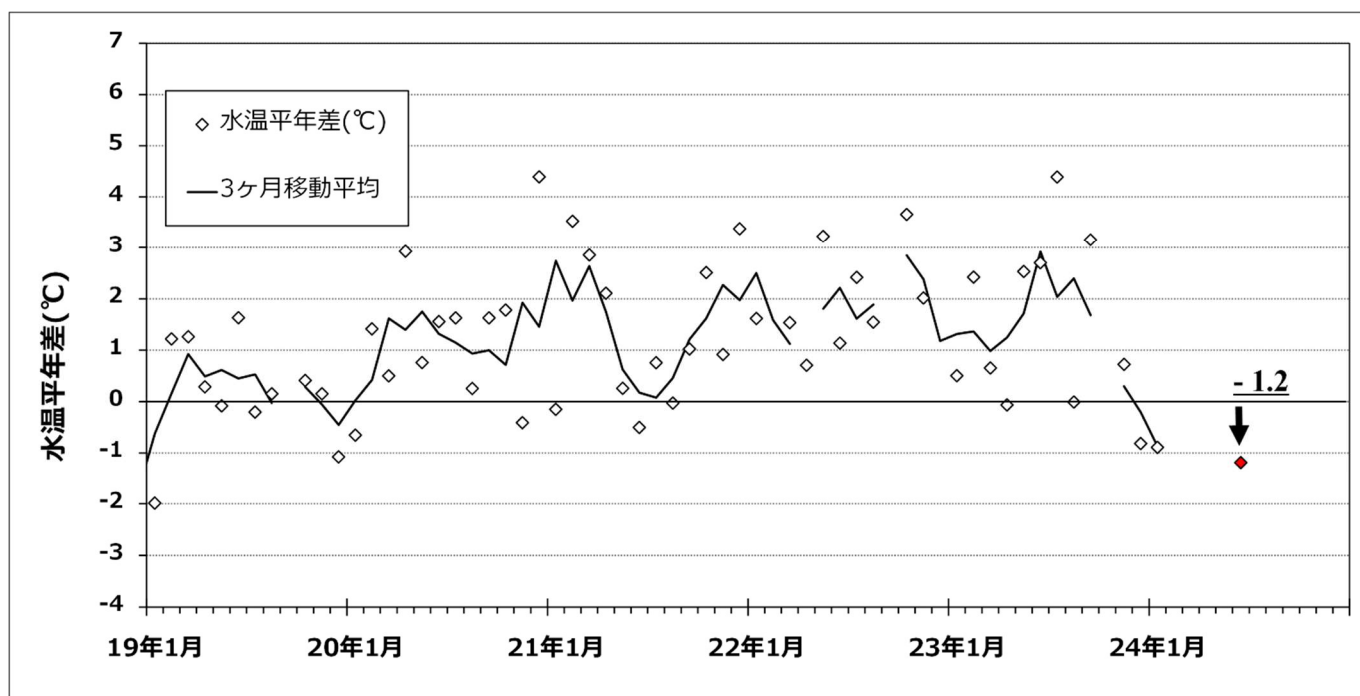
6月3、4日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。

湾口部表層水温は平年差+0.1°Cで平年並み、沖合域 200m 深は-1.2°Cでやや低めとなっています。6月3日の人工衛星画像によると、黒潮は大王崎沖北緯 31 度付近から野島崎へ向かって北上する A 型流路となっています。黒潮の流軸は渥美外海から離岸し、石廊崎沖から西向きに暖水が波及し、渥美外海まで及んでいます。

湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去 10 年平均値との差

【渥美外海の海況】

海面および 100m 深の水温分布によると、南東方向からの黒潮系の暖水がみられます。また、塩分の 10m 深によると内湾系水は志摩半島沿いに流出して、外海水が湾口に向かって西向きに差し込んでいます。クロロフィル a 濃度は、湾口の表層から沖合の水深 50m 付近に向かってピーク帯が伸びており、湧昇が生じていることが考えられます。

水温の水平分布図と水温, 塩分, 密度, クロロフィル a 濃度の鉛直断面図

